

特別支援学校高等部 情報

解答についての注意点

- 1 問題は、教科等に関する大問 **1** ～大問 **3**、特別支援教育に関する大問 **4** の各問題から構成されています。
- 2 解答用紙は、記述式解答用紙とマーク式解答用紙の2種類があります。
- 3 大問 **1** については、記述式解答用紙に、大問 **2** ～大問 **4** については、マーク式解答用紙に、記入してください。
- 4 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 5 大問 **2** ～大問 **4** の解答は、選択肢のうちから、問題で指示された解答番号の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は 」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号 の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 6 間違ってぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 7 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

1 次の(1)～(9)の問いに答えよ。

- (1) 高等学校学習指導要領解説情報編(平成30年7月告示)において示された情報教育の目標の『3つの観点』は、「情報化の進展に対応した初等中等教育における情報教育の推進等に関する調査研究協力者会議」がとりまとめた、第1次報告「体系的な情報教育の実施に向けて」(平成9年10月)で整理されたものである。『3つの観点』をすべて答えよ。
- (2) アナログ信号をデジタル信号に変換することをA/D変換と呼び、標本化→量子化→符号化の順に行われる。音声をA/D変換する場合を例として、それぞれの過程における処理内容について、簡潔に説明せよ。
- (3) 非可逆圧縮方式による圧縮では、圧縮前のデータに完全には復元することができないのは何故か。音声データを圧縮する場合を例として、簡潔に説明せよ。
- (4) デジタルデータの伝送について、下記の場合に何秒かかるか求めよ。
- ・100Mbpsの回線を用いて、300MByteのデータを伝送する。
 - ・回線の伝送効率は60%とする。
 - ・1Mbps = 1,000Kbps、1Kbps = 1,000bps、1MByte = 1,000KByte、1KByte = 1,000Byte とする。
- (5) 情報セキュリティは3つの要素を維持することとされており、それぞれの英語の頭文字をとって「CIA」と呼ばれることもある。これらの3つの要素について、それぞれ「○○性」で答えよ。

(6) 次の文章は、教員と生徒が知的財産権について会話している内容である。発言番号①～⑤のうち、最も適切でない発言番号を一つ選び、その理由を簡潔に説明せよ。

生徒：今日の授業を受けて、知的財産権の大切さがとてもよくわかりました。

教員：すこし復習してみましょう。

①知的財産権を大きく分けると、産業財産権、著作権、その他の権利に分けることができます。

生徒：特許権は産業財産権の1つですよ。

教員：その通り。

②他にも、商標権や意匠権、実用新案権があります。

生徒：著作権はとても身近なもので、知らないうちに著作権を侵害しないように注意しなければなりません。

教員：③著作権は申請などの必要はなく、著作物を創作した時点で成立します。

生徒：それでは、私が授業で頑張って完成させたプログラムも著作物になりますか。

教員：もちろん。

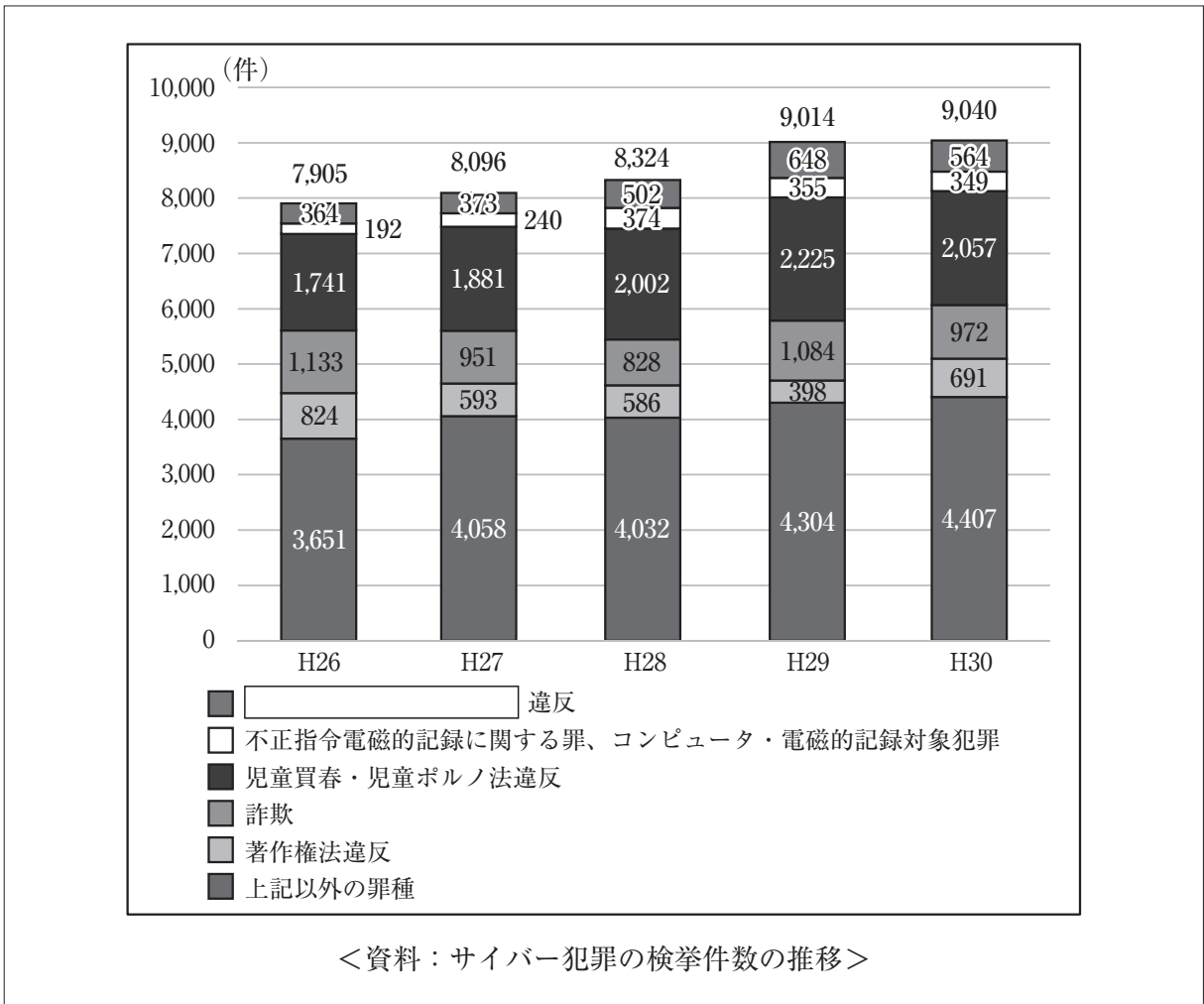
④プログラムやプログラム言語は著作権法による保護の対象になります。

生徒：そういえば、著作権の保護期間は延長されたのですよね。

教員：⑤著作権の保護期間は、原則として著作者が著作物を創作した時点から著作者の死後70年までとなっています。

生徒：それだけ大切な権利ということですね。

(7) サイバー犯罪に関する資料について、空欄に該当する法律名を答えよ。また、その法律に関する犯罪について簡潔に説明せよ。



「平成30年におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について」（平成31年 3月 7日 警察庁）

(8) ソーシャルエンジニアリングについて、「心理的」を用いて、簡潔に説明せよ。

(9) 以下の文章は、第5期科学技術基本計画（平成28年1月22日 閣議決定）において提唱された、Society 5.0で実現する社会について説明したものである。次のア～ウの問いに答えよ。

で全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、今までにない新たな価値を生み出すことで、これらの課題や困難を克服します。また、人工知能（AI）により、必要な情報が必要な時に提供されるようになり、ロボットや自動走行車などの技術で、少子高齢化、地方の過疎化、貧富の格差などの課題が克服されます。社会の変革（イノベーション）を通じて、これまでの閉塞感を打破し、希望の持てる社会、世代を超えて互いに尊重しあえる社会、一人一人が快適で活躍できる社会となります。

(内閣府 Society 5.0)

ア 文章中の空欄に該当する語句を答えよ。

イ 人工知能（AI）がルールや知識を自ら学習する技術・手法を機械学習という。この手法の一つであり、人間の脳を模したニューラルネットワークの多層化により実現した学習手法を何というか。その名称を答えよ。

ウ 2045年ごろまでに到来すると予測されている、人工知能が人間の知能を超える転換点のことを何というか。カタカナで答えよ。

2 次の(1)～(4)の問いに答えよ。

(1) 格納されている多くのデータから、目的のデータを引き出すことを探索という。
代表的な探索方法である線形探索法、二分探索法について、次のア～エの問いに答えよ。

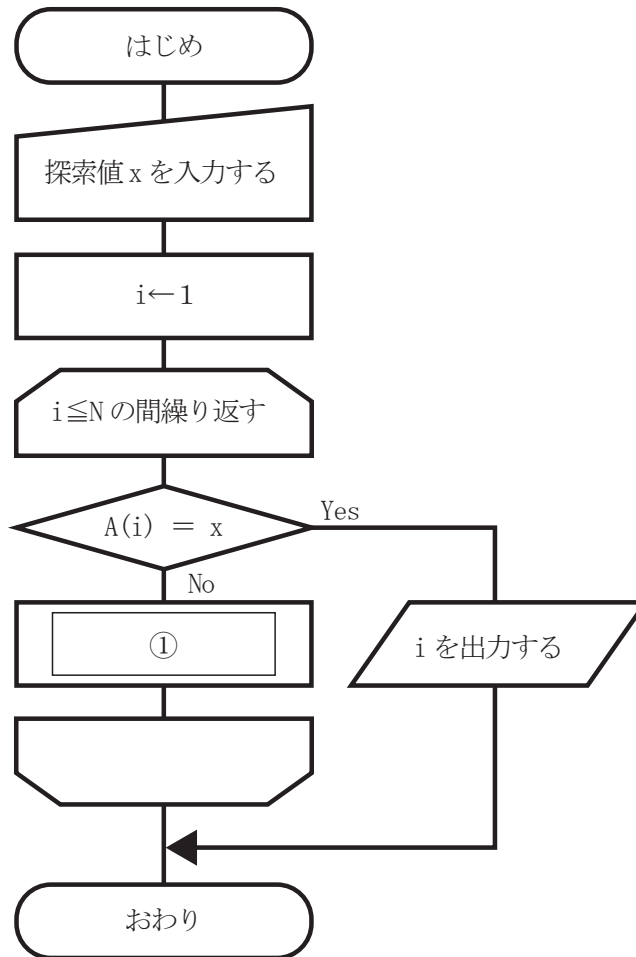
ア 線形探索法に関する記述のうち、適切でないものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 探索をデータ列の先頭から開始する。
- 2 探索するデータを配列の最後に置く方法がある。
- 3 データ列は整列されている必要がある。
- 4 N個のデータ探索に要する最大比較回数はN回になる。
- 5 N個のデータ探索に要する平均比較回数は $(N + 1) \div 2$ 回になる。

イ 下図は配列 $A(1), A(2), \dots, A(N)$ から、 $A(i) = x$ となる配列 $A(i)$ の添字 i を線形探索法によって見つける処理の流れを示している。図中の空欄①に該当する処理はどれか。

1～5 から一つ選べ。解答番号は

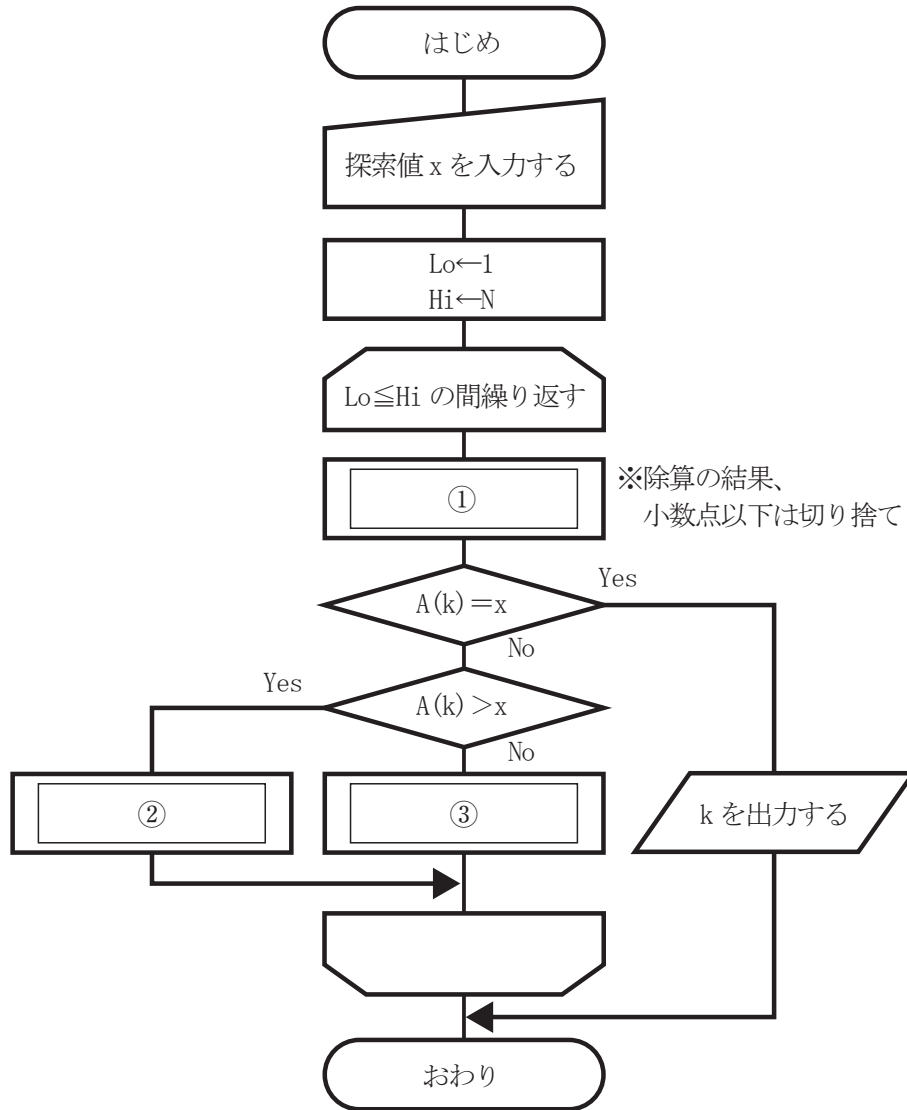


- 1 $x \leftarrow x + 1$ 2 $x \leftarrow i + 1$ 3 $i \leftarrow i + 1$ 4 $i \leftarrow x + 1$ 5 $N \leftarrow N + 1$

ウ あらかじめ整列された1,000個のデータが配列に格納されている。探索したい値を二分探索法で探索するときの最大比較回数はどれか。1～5 から一つ選べ。解答番号は

- 1 10 2 50 3 100 4 500 5 1,000

エ 下図は昇順に整列済みの配列 $A(1), A(2), \dots, A(N)$ から、 $A(k) = x$ となる配列 $A(k)$ の添字 k を二分探索法によって見つける処理の流れを示している。図中の空欄①～③に該当する処理はどれか。1～5 から一つずつ選べ。解答番号は、①は 、②・③の組合せは



①の解答群

1 $k \leftarrow \text{Hi}/2 + \text{Lo}$

2 $k \leftarrow \text{Hi} + \text{Lo}/2$

3 $k \leftarrow (\text{Hi} + \text{Lo}) / 2$

4 $k \leftarrow (\text{Hi} - \text{Lo}) / 2$

5 $k \leftarrow (\text{Lo} - \text{Hi}) / 2$

②・③の解答群

②

③

1 $\text{Hi} \leftarrow k - 1$

$\text{Lo} \leftarrow k - 1$

2 $\text{Hi} \leftarrow k - 1$

$\text{Lo} \leftarrow k + 1$

3 $\text{Hi} \leftarrow k + 1$

$\text{Lo} \leftarrow k - 1$

4 $\text{Hi} \leftarrow k + 1$

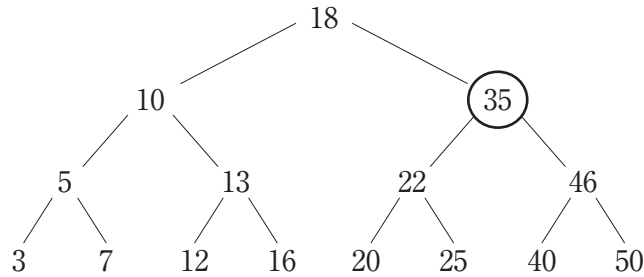
$\text{Lo} \leftarrow k + 1$

5 $k \leftarrow \text{Hi} + \text{Lo}$

$k \leftarrow \text{Hi} - \text{Lo}$

(2) 下図は二分探索木を示している。要素35を削除した後、二分探索木の性質を損なわないよう再構成するために、削除された要素の位置に移動させる要素はどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は



- 1 20 2 22 3 40 4 46 5 50

(3) 16進数で表される6個のデータ〔1D, 21, 2C, B2, EC, 10E〕がある。次のハッシュ関数を用い、このデータを左から順に配列へ格納していくとき、衝突により格納できないデータはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

ハッシュ関数： $\text{mod}(\text{データ}, 7) \cdots \text{mod}(a,b)$ は a を b で割った余りを表している。

- 1 21 2 2C 3 B2 4 EC 5 10E

(4) 次の整列アルゴリズムの説明について、該当する語句はどれか。1～5から一つずつ選べ。

解答番号は 、、

隣り合う要素を比較して、大小の順が逆であれば、それらの要素を入れ替えるという操作を繰り返す方法。

配列の中から最大値（最小値）を探し、配列の最後の要素と入れ替える。次に配列の最後の要素を除いた配列から最大値（最小値）を探し、配列の最後から2番目の要素を入れ替える。この操作を繰り返す方法。

中間的な基準値を決めて、それより大きな値の要素を集めた区分と小さな値の要素を集めた区分に振り分ける。次にそれぞれの区分の中で同様の処理を繰り返す方法。

- 1 クイックソート 2 マージソート 3 シェルソート
4 バブルソート 5 選択ソート

3 次の(1)～(3)の問いに答えよ。

(1) ネットワークについて、次のア～オの問いに答えよ。

ア LANの接続形態に関する説明について、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- ① ケーブルを束ねる集線装置を中心に、各ケーブルを接続する形態
- ② 1本のケーブルを分岐させて端末や機器を接続する形態
- ③ ループ状に配置したケーブルに機器を接続する形態

	①	②	③
1	バス型	スター型	リング型
2	バス型	リング型	スター型
3	スター型	バス型	リング型
4	スター型	リング型	バス型
5	リング型	バス型	スター型

イ アクセス制御方式の説明のうち、CSMA/CD方式に関する説明を○、そうでない説明を×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- ① ノードは伝送媒体が使用されているかを確認し、使用中でなければ送信を行う。
- ② 時間を分割して、送信権を割り当てられたノードだけが送信を行う。
- ③ ノードは送信した信号の衝突を検知した場合、ランダムな時間経過後に再度送信を行う。
- ④ 受信に成功したことを送信者に通知する仕組みになっている。
- ⑤ 伝送路上に送信権を制御するための特殊なフレームを巡回させて、これを受け取ったノードだけが送信を行う。

	①	②	③	④	⑤
1	○	×	○	×	×
2	×	○	×	×	○
3	○	×	×	×	○
4	×	○	×	○	×
5	○	×	○	○	×

ウ OSI基本参照モデルの各層で中継する装置について、正しい組合せはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

	物理層	データリンク層	ネットワーク層
1	ブリッジ	ルータ	リピータ
2	ブリッジ	リピータ	ルータ
3	リピータ	ルータ	ブリッジ
4	リピータ	ブリッジ	ルータ
5	ルータ	ブリッジ	リピータ

エ 下表は、無線LANにおける認証方式、暗号化方式、暗号化アルゴリズムについて整理したものである。表中の空欄に該当する語句はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

認証方式	暗号化方式	暗号化アルゴリズム
WEP	WEP	RC4
WPA	TKIP	RC4
WPA2	CCMP	<input type="text"/>

1 AES 2 RC4 3 DES 4 FEAL 5 RSA

オ 無線LANのクライアント認証などで使われているARPを利用した通信可否判定の説明として、適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

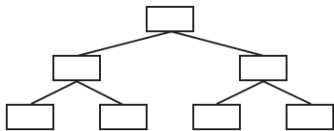
- 1 PCにインストールされているソフトウェアを確認し、登録されているソフトウェアだけがインストールされている場合に通信を許可する。
- 2 PCのMACアドレスを確認し、事前に登録されているMACアドレスである場合だけ通信を許可する。
- 3 PCのウイルス対策ソフトの定義ファイルを確認し、最新になっている場合だけ通信を許可する。
- 4 PCのOSの更新状況を確認し、最新になっている場合だけ通信を許可する。
- 5 PCの管理番号を確認し、事前に登録されている管理番号である場合だけ通信を許可する。

(2) データベースについて、次のア、イの問いに答えよ。

ア データベースの種類について、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

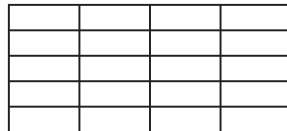
①



①

- 1 階層型データベース
- 2 ネットワーク型データベース
- 3 関係データベース
- 4 ネットワーク型データベース
- 5 階層型データベース

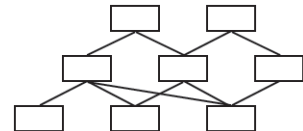
②



②

- ネットワーク型データベース
- 階層型データベース
- 階層型データベース
- 関係データベース
- 関係データベース

③



③

- 関係データベース
- 関係データベース
- ネットワーク型データベース
- 階層型データベース
- ネットワーク型データベース

イ 関係データベースの操作に関する説明について、正しい組合せはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

- ① 表から指定した列を抽出する操作
- ② 表から条件を満たす行を抽出する操作
- ③ 複数の表を、列の値で関連付けて、新しく1つの表を作る操作

①

②

③

- | | | | |
|---|----|----|----|
| 1 | 選択 | 射影 | 結合 |
| 2 | 選択 | 結合 | 射影 |
| 3 | 射影 | 結合 | 選択 |
| 4 | 射影 | 選択 | 結合 |
| 5 | 結合 | 選択 | 射影 |

(3) 以下の文章を読み、次のア～ウの問いに答えよ。

この学校では、教職員が授業などでICT機器を利用する場合、必要に応じてそれらを借りることができ、ICT機器管理者が貸出管理を行っている。現在、ICT機器を管理するデータベースは、図1に示すとおり、学校が所有するICT機器と現在の貸出状況を管理する機器一覧表で構成されている。

機器一覧表						
管理番号	機器名	メーカー名	種別	貸出日	返却予定日	職員番号
19050101	ノートPC	〇〇社	PC	null	null	null
19050102	プロジェクター	△△社	ET	2019-05-22	2019-05-29	2976723

【機器一覧表の説明】

- ①下線のある項目は、主キーを表している。
- ②貸出中のICT機器には、貸出日と返却予定日が格納されている。
- ③職員番号には、ICT機器を借りている教職員の職員番号が格納されている。
- ④貸出日、返却予定日、職員番号がnullの場合は、貸出中でないことを表している。
- ⑤ICT機器が返却された場合、貸出日、返却予定日、職員番号にはnullを設定する。
- ⑥校務に関するシステムで管理している教職員表と結合することで、氏名と教科が検索できる。

図1

今年度赴任したA先生はICT機器管理者となったため、ICT機器の活用状況を分析しようと考えたが、現在のデータベースでは検索できない情報があった。

そこで、A先生は分析に必要な情報を検索できるようにするため、データベースを図2に示す表構成で再構築して、ICT機器が効率的に活用されるように運用を始めた。

機器一覧表			
管理番号	機器名	メーカー名	種別
19050101	ノートPC	〇〇社	PC
19050102	プロジェクター	△△社	ET

貸出表

貸出番号	管理番号	職員番号	貸出日	返却予定日	返却日
19107	19050101	3423561	2019-05-07	2019-05-14	2019-05-16
19108	19050102	2976723	2019-05-22	2019-05-29	null

【貸出表の説明】

- ①1つのICT機器の貸出しに対して一意の貸出番号を付与し、貸出表に情報を記録する。
- ②返却日には、返却された日付を格納し、nullは貸出中であることを表している。
- ③ICT機器が返却された後も、貸出表に記録された情報は残す。
- ④貸出日、返却予定日、返却日はDATE型である。

図2

ア 波線部について、図1の機器一覧表と教職員表からは検索できない情報はどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 貸出ししているICT機器の一覧
- 2 貸出ししていないICT機器の一覧
- 3 返却予定日を過ぎている貸出中のICT機器の一覧
- 4 ICT機器を貸出ししている利用者の教科
- 5 ICT機器ごとの累積貸出回数

イ ICT機器の効率的な活用のため、図2の表構成をもとに、再構築されたデータベースの運用開始から今日までの延滞状況を確認したい。次のSQL文の空欄に該当する最も適切なものはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

```
SELECT 貸出表.職員番号, 機器一覧表.機器名
FROM 機器一覧表, 貸出表
WHERE 
ORDER BY 貸出表.職員番号
```

- 1 機器一覧表.管理番号 = 貸出表.管理番号 AND
貸出表.返却日 IS NOT NULL
- 2 機器一覧表.管理番号 = 貸出表.管理番号 AND
(貸出表.返却日 > 貸出表.返却予定日 OR
(貸出表.返却日 IS NULL AND 貸出表.返却予定日 < CURRENT_DATE))
- 3 機器一覧表.管理番号 = 貸出表.管理番号 AND
貸出表.返却日 > 貸出表.返却予定日
- 4 機器一覧表.管理番号 = 貸出表.管理番号 AND
(貸出表.返却日 BETWEEN 貸出表.貸出日 AND 貸出表.返却予定日 OR
貸出表.返却日 IS NULL OR
貸出表.返却予定日 < CURRENT_DATE)
- 5 機器一覧表.管理番号 = 貸出表.管理番号 AND
貸出表.返却日 IS NULL

ウ 図2の表構成をもとに、活用実態を分析するため、貸出回数が多い順に管理番号、機器名、貸出回数を表示したい。次のSQL文の空欄に該当するものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

```
SELECT 機器一覧表.管理番号, 機器一覧表.機器名,  AS 貸出回数
FROM 機器一覧表, 貸出表
WHERE 機器一覧表.管理番号 = 貸出表.管理番号
GROUP BY 機器一覧表.管理番号, 機器一覧表.機器名
ORDER BY 貸出回数 DESC
```

- 1 SUM (貸出表.貸出番号)
- 2 MAX (機器一覧表.管理番号)
- 3 COUNT (*)
- 4 貸出表.貸出番号
- 5 機器一覧表.管理番号

大阪府では、「障害」という言葉が、前後の文脈から人や人の状態を表す場合は、「害」の漢字をひらがな表記とし、「障がい」としています。問題中では、機関・団体の名称等の固有名詞や、法令や文献等からの引用部分については、もとの「障害」の表記にしています。

4 特別支援教育に関する法令や近年の動向について、次の(1)～(8)の問いに答えよ。

(1)「発達障害者支援法」(平成28年6月一部改正)について、次の①、②の問いに答えよ。

① 次の文は、第二条の条文である。空欄ア～エに当てはまる語句として正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

(定義)

第二条 この法律において「発達障害」とは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であってその症状が通常 において発現するものとして政令で定めるものをいう。

2 この法律において「発達障害者」とは、発達障害がある者であって発達障害及び により日常生活又は社会生活に制限を受けるものをいい、「発達障害児」とは、発達障害者のうち のものをいう。

3 この法律において「」とは、発達障害がある者にとって日常生活又は社会生活を営む上で障壁となるような社会における事物、制度、慣行、観念その他一切のものをいう。

4 この法律において「」とは、発達障害者に対し、その心理機能の適正な発達を支援し、及び円滑な社会生活を促進するため行う個々の発達障害者の特性に対応した医療的、福祉的及び教育的援助をいう。

	ア	イ	ウ	エ
1	低年齢	社会的障壁	十八歳未満	発達支援
2	低年齢	個人内障壁	十八歳以下	心理的支援
3	高学年	個人内障壁	十八歳未満	心理的支援
4	高学年	社会的障壁	十八歳以下	発達支援
5	高学年	社会的障壁	十八歳未満	心理的支援

② 次の各文のうち、「第一章 総則」の記述の内容として正しいもののみをすべて挙げているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

ア 発達障がい者の支援は、個々の発達障がい者の性別、年齢、障がいの状態及び生活の実態に応じて、切れ目をつけながら行われなければならない。

イ 発達障がい者の支援は、全ての発達障がい者が社会参加の機会が確保されること及びどこで誰と生活するかについての選択の機会が確保され、地域社会において他の人々と共生することを妨げられないことを旨として、行われなければならない。

ウ 国及び地方公共団体は、基本理念にのっとり、発達障がい児に対し、発達障がいの症状の発現後、経過観察の時間をとって、その者の状況に応じて適切に、就学前の発達支援、学校における発達支援その他の発達支援が行われるとともに、発達障がい者に対する就労、地域における生活等に関する支援及び発達障がい者の家族その他の関係者に対する支援が行われるよう、必要な措置を講じるものとする。

エ 国民は、個々の発達障がいの特性その他発達障がいに関する理解を深めるとともに、基本理念にのっとり、発達障がい者の自立及び社会参加に協力するように努めなければならない。

オ 国及び地方公共団体は、発達障がい児が、その年齢及び能力に応じ、かつ、その特性を踏まえた十分な教育を受けられるようにするため、必ず発達障がい児が発達障がい児でない児童と共に教育を受けられるよう配慮しつつ、適切な教育的支援を行う。

- 1 アーオ
- 2 イーエ
- 3 アーウーオ
- 4 イーウーエ
- 5 アーイーウーオ

(2) 次の表は、文部科学省による「主な発達障害の定義について」をまとめたものである。空欄ア～エにあてはまる障がい名として正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

障がい名	定義
<input type="text" value="ア"/>	基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すものである。その原因として、中枢神経系に何らかの機能障がいがあると推定されるが、視覚障がい、聴覚障がい、知的障がい、情緒障がいなどの障がいや、環境的な要因が直接の原因となるものではない。
<input type="text" value="イ"/>	3歳位までに現れ、①他人との社会的関係の形成の困難さ、②言葉の発達の遅れ、③興味や関心が狭く特定のものにこだわることを特徴とする行動の障がいであり、中枢神経系に何らかの要因による機能不全があると推定される。
<input type="text" value="ウ"/>	年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力、及び／又は衝動性、多動性を特徴とする行動の障がい、社会的な活動や学業の機能に支障をきたすものである。また、7歳以前に現れ、その状態が継続し、中枢神経系に何らかの要因による機能不全があると推定される。
<input type="text" value="エ"/>	3歳位までに現れ、①他人との社会的関係の形成の困難さ、②言葉の発達の遅れ、③興味や関心が狭く特定のものにこだわることを特徴とする行動の障がいである <input type="text" value="イ"/> のうち、知的発達の遅れを伴わないものをいう。また、中枢神経系に何らかの要因による機能不全があると推定される。

	ア	イ	ウ	エ
1	学習障がい	自閉症	注意欠陥多動性障がい	アスペルガー症候群
2	自閉症	高機能自閉症	アスペルガー症候群	学習障がい
3	学習障がい	高機能自閉症	アスペルガー症候群	自閉症
4	高機能自閉症	自閉症	注意欠陥多動性障がい	アスペルガー症候群
5	学習障がい	自閉症	注意欠陥多動性障がい	高機能自閉症

(3) 次の文は、「障害者基本法」(平成23年一部改正)の第一条の条文である。空欄ア～ウに当てはまる語句として正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

(目的)

第一条 この法律は、全ての国民が、にかかわらず、等しく基本的人権を享有するかけがえない個人として尊重されるものであるとの理念にのっとり、全ての国民が、によつて分け隔てられることなく、相互にを尊重し合いながらする社会を実現するため、障害者の自立及び社会参加の支援等のための施策に関し、基本原則を定め、及び国、地方公共団体等の責務を明らかにするとともに、障害者の自立及び社会参加の支援等のための施策の基本となる事項を定めること等により、障害者の自立及び社会参加の支援等のための施策を総合的かつ計画的に推進することを目的とする。

	ア	イ	ウ
1	障害の有無	個人と他者	共生
2	障害の有無	人格と個性	共生
3	能力の有無	個人と他者	協働
4	能力の有無	人格と個性	共生
5	障害の有無	個人と他者	協働

(4) 次の各文のうち、「交流及び共同学習ガイド」(平成31年3月 文部科学省)の『交流及び共同学習の展開』のポイントについて述べたものとして正しいもののみをすべて挙げているものはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

ア 学校、子どもたち、保護者等の関係者が、交流及び共同学習の意義やねらい等について、十分に理解する。

イ 担任の判断の下、学校全体ではなく学級単位で取り組む。

ウ 交流及び共同学習の実施、事前の準備、実施後の振り返りについて、年間指導計画に位置付け、計画的・継続的に取り組む。

エ 障がいについて形式的に理解させる程度にとどめ、子どもたちが主体的に取り組む活動にする。

オ 活動後には、活動のねらいの達成状況、子どもたちの意識や行動の変容を評価し、今後の取組に生かす。

1 アーイーエ

2 イーウーオ

3 アーウーオ

4 アーイーウーエ

5 イーウーエーオ

(5) 次の文は、「障害者の雇用の促進等に関する法律」(平成30年7月6日公布)第一条の条文である。文中の空欄ア～エに当てはまる正しい語句の組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

(目的)

第一条 この法律は、障害者の雇用義務等に基づく雇用の促進等のための措置、雇用の分野における障害者と障害者でない者との 及び 並びに障害者がその有する能力を有効に発揮することができるようにするための措置、 の措置その他障害者がその能力に適合する職業に就くこと等を通じてその職業生活において自立することを促進するための措置を総合的に講じ、もつて障害者の を図ることを目的とする。

	ア	イ	ウ	エ
1	均等な機会	待遇の確保	職業リハビリテーション	職業の安定
2	均等な機会	待遇の確保	職業カウンセリング	生活の安定
3	格差の是正	保障の確保	職業カウンセリング	職業の安定
4	格差の是正	待遇の確保	職業リハビリテーション	職業の安定
5	均等な機会	保障の確保	職業カウンセリング	生活の安定

(6) 「特別支援学校小学部・中学部学習指導要領」(平成29年4月告示)について、次の①、②の問いに答えよ。

① 文中の空欄ア～エに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

第1章5節の1の(3)

児童又は生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、 自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、 を要として各教科等の特質に応じて、 の充実を図ること。その中で、中学部においては、生徒が自らの生き方を考え主体的に進路を選択することができるよう、学校の を通じ、組織的かつ計画的な進路指導を行うこと。

	ア	イ	ウ	エ
1	社会的・職業的	作業学習	キャリア教育	職業教育
2	職業的・共生的	作業学習	就労教育	教育活動全体
3	社会的・職業的	特別活動	キャリア教育	職業教育
4	社会的・職業的	特別活動	キャリア教育	教育活動全体
5	職業的・共生的	特別活動	就労教育	職業教育

② 文中の空欄ア～エに当てはまる語句として正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

第1章第2節の2の(4)

学校における自立活動の指導は、障害による の困難を し、自立し社会参加する資質を養うため、自立活動の時間はもとより、学校の を通じて適切に行うものとする。特に、自立活動の時間における指導は、各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動と密接な関連を保ち、個々の児童又は生徒の障害の状態や 等を的確に把握して、適切な指導計画の下に行うよう配慮すること。

	ア	イ	ウ	エ
1	生活上または活動上	改善・克服	自立活動教諭	特性及び心身の発達の段階
2	生活上または活動上	改善・克服	教育活動全体	認知の発達の段階
3	生活上または活動上	緩和・改善	自立活動教諭	認知の発達の段階
4	学習上または生活上	緩和・改善	自立活動教諭	特性及び心身の発達の段階
5	学習上または生活上	改善・克服	教育活動全体	特性及び心身の発達の段階

(7)「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）」
（平成30年3月）の自立活動の内容において、発達障がいや重複障がいを含めた障がいのある幼
児児童生徒の多様な障がいの種類や状態等に応じた指導を一層充実するために新設された項目は
どれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること。
- 2 他者とのかかわりの基礎に関すること。
- 3 感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関すること。
- 4 障害の特性の理解と生活環境の調整に関すること。
- 5 状況に応じたコミュニケーションに関すること。

(8) 次の文は、「大阪府教育振興基本計画における後期事業計画」(2018(平成30)年度～2022年度大阪府)の基本方針の一部である。空欄ア～ウに当てはまる語句として正しい組合せはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

基本方針3 障がいのある子ども一人ひとりの自立を支援します

基本的方向

- 「」教育をさらに推進し、支援を必要とする幼児・児童・生徒の増加や多様化に対応した教育環境の整備をすすめます。
- 障がいのある子どもの の促進に向け、関係機関と連携し、就労をはじめとした支援体制を充実します。
- 「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」の活用を促進し、幼・小・中・高の発達段階の連続性を大切にした一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を充実します。
- 関係部局が連携し、発達障がいのある子どもへの一貫した支援を充実します。
- における障がいのある子どもが安心して学べる学校づくりの支援に努めます。

	ア	イ	ウ
1	ともに育ち、ともに生きる	自立と社会参加	公立学校
2	ともに育ち、ともに生きる	支援と社会自立	私立学校
3	ともに学び、ともに育つ	自立と社会参加	私立学校
4	ともに学び、ともに育つ	自立と社会参加	公立学校
5	ともに育ち、ともに生きる	支援と社会自立	公立学校

